

【ニュースリリース】

2023年6月9日
株式会社サイバーセキュリティクラウド

報道関係者各位

【イベントレポート】「サイバーセキュリティに特化したコミュニティ
“Cyber-sec+（通称：Security Slack）”ローンチイベント」開催



ハッカー対策サービスを展開するグローバルセキュリティメーカーの株式会社サイバーセキュリティクラウド（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO：小池敏弘、以下「当社」）は、当社が発起人となった一般社団法人サイバーセキュリティ連盟と2023年6月8日（木）に「サイバーセキュリティに特化したコミュニティ“Cyber-sec+（サイバーセキュリティ プラス）”」ローンチイベントを開催しました。

イベント当日は情報システム担当者やサイバーセキュリティ担当者を始め、インフラエンジニアや経営層の方など100名近くの方にご参加を頂き、公開されたコミュニティ“Cyber-sec+（通称：Security Slack）”は既に250名近くの方にご参画を頂いております。

■ 人材不足はサイバーセキュリティ業界では特に深刻化

昨今、情報システム担当者やサイバーセキュリティ担当者などの専門人材が日本では約56,000名も不足（※）しています。多くの企業では、サイバーセキュリティ領域を専門としない社員が兼務して、十分な専門知識を持たないまま手探りで業務に当たっているケースが多いのが現状です。

また、専門人材の確保が出来たとしても企業の中で情報システム領域を一人でこなすケースが多く、そうした専任者は社内に「理解者がいない」「相談相手がいない」と悩んでいます。

※ (ISC)² Cybersecurity Workforce Study : <https://www.isc2.org/Research/Workforce-Study>

■ 「誰に訊いたら良いか分からない問題」をなくす為のコミュニティを立上げ

若年層の減少とシニア層の増加による少子高齢化の進行から、人材確保を始め、確保した人材のスキルアップや育成などがしにくい状況にあります。それ故に業務量が過多となり人的ミスや知識不足からセキュリティホールが生じるなど、サイバー空間という「目に見えないもの」であるが故に周りが気付きにくく「訊ける人がいない」ことによる弊害は企業にとっても多大なるリスクとなっています。

サイバーセキュリティ連盟では、これら直面している問題を解決するには、業界・企業の垣根を超えて共に学び、情報共有を自由に出来る場を作ることが必要だと考え、サイバーセキュリティに特化したコミュニティを立上げることとしました。

イベント当日は、一般社団法人サイバーセキュリティ連盟の小池敏弘氏、西澤将人氏より連盟の活動内容やコミュニティ立上げの経緯、コミュニティ内で出来ること・実現したいことについての発表がありました。

続いて、約9,000名ものコーポレートエンジニアが参加する『情シス Slack』を運営し、当コミュニティ“Cyber-sec+（通称：Security Slack）”のローンチ・運営にもご参画を頂く、一般社団法人日本ビジネ

■ 一般社団法人日本ビジネステクノロジー協会 代表理事 岡村 慎太郎 氏

私どもが運営している『情シス Slack』は 2020 年に発足してからどんどん大きくなり、今では 9,000 名の方が参加しています。情報システム担当者やコーポレートエンジニアの皆さんが活発に情報共有を行っています。



一般にコミュニティでノウハウレベルのことや社内情報などを共有することは、セキュリティルール違反・情報漏洩にあたると思われるがちですが、実際は何となく「社外秘情報」だと思い込んでいるだけで、本当であれば社外に共有が出来たというものが多く、またそういった情報こそ実はとても価値があります。

その「オープンに語られる情報」が誰かの役に立ち、皆が成長していきます。そして、コミュニケーション量を最大化することによって、参加者の利益になり、引いては「日本の DX をもっと安全に」というサイバーセキュリティ連盟が掲げているミッション達成に繋がると思います。コミュニティの運営だけではなく、イベントを行うなど協力しながら活動していけたら幸いです。

■ 「見る・尋ねる・回答する」全ての人学べるコミュニティ

「情シスSlack」兄弟版：Cyber-sec+（通称：Security Slack）

日本最大級のサイバーセキュリティ特化コミュニティを目指す

内容

- “Q&A”で収まる（深い議論が不要）様な「ライトな質問」を展開して、不明点の回答を得る。



閲覧による
知識の獲得



回答による
知識の再確認



関係性の構築



自己ブランディング

コミュニティの特性

- 気軽に参加することが出来る。
- コミュニティからスピンオフ企画へと昇華させることも可能。



匿名で参加可能



DXに関連する
サイバーセキュリティ



スピンオフ企画

仕事を行う上で「知っている」と「実行できる」は大きく違います。また、サイバーセキュリティ知識としても、実際に対応することと人に教えることは大きく違います。

“Cyber-sec+（通称：Security Slack）”では「やり取りを見ている方」「ちょっとしたサイバーセキュリティに関することを質問する方」「様々な質問に回答する方」全ての方にとって学びに繋がる環境作りを目指しています。

▼コミュニティ“Cyber-sec+（通称：Security Slack）”へのご参加はこちら
https://www.cscloud.co.jp/dx-security/dx_news/20230608-1

【報道関係者各位の問い合わせ先】

株式会社サイバーセキュリティクラウド 経営企画部 広報担当：竹谷・川崎
TEL：03-6416-9996 Mobile：080-4583-2871（川崎）
FAX：03-6416-9997 E-Mail：a.kawasaki@cs-a.or.jp